

熊本県立第二高等学校 平成28年度学校評価表

Table with 6 main sections: 1. School Education Objectives, 2. Key Points of This Year, 3. Self-Evaluation Summary, 4. School Relationship Evaluation, 5. Overall Evaluation, 6. Next Year's Themes/Improvement Plans. Each section contains detailed text and evaluation criteria.

評価基準 A:十分達成 B:概ね達成 C:やや不十分 D:不十分

4 学校関係者評価
学校関係者評価委員会の総括
○熊本地震への対応ではお世話になった。仮設校舎という環境の中でいかに困難を克服していくかが重要だと思う。また、そうした経験や機会を今後に生かして欲しい。
○震災を教訓として、次への対応が課題だと思う。今回の経験から次へ生かしていくことが課題である。
○第二高校の活躍をテレビ等で見るたびに元気をもらっている。ホームページでもっと生徒の頑張りを発信して欲しい。
○今回の震災の経験を大人になって生かして欲しい。保護者や生徒の地元志向を少し危惧している。ぜひこの体験をへ外へ広める指導をお願いしたい。
○各学年のストリーを危険視している。発生直後のケアを大切にしたい。
○第二高校生の活躍が報道されると誇りに思う。もっと情報発信力を上げてほしい。
○SNSへの保護者の対応に課題があると感じている。制限するばかりではなく、活用する方向性も探るべきである。PTAとしても取り組んでいきたい。
○進路指導では大学が目標ではなく、その先を見据えた指導をお願いしたい。

5 総合評価
本年度の重点目標の達成度について、上記の自己評価結果から検証すると、評価基準A、Bの項目が並んでおり、概ね、目標が達成されている。熊本地震の影響のため、支援が期待されている部分があるが、生徒や保護者の理解や支援があり、これまでに変わらぬ学習指導、進路指導、生活指導について高評価を得た。全ての生徒、保護者による学校評価アンケートでは、昨年度までと同様に本校に対する生徒及び保護者の信頼や期待の大きさが感じられる。今後も、重点目標に掲げた学力向上、個性の伸長、豊かな心の育成、国際感覚の育成、人権意識の高揚、理数教育の充実を更に推進し、生徒一人一人を大事にした教育活動を行い、保護者と地域とともに、生徒及び教職員が一体となった「全人教育」を推進していく。

6 次年度への課題・改善方針
○全人教育を推進し、保護者と地域からの期待に応えられるよう、引き続き職員が自己研鑽に努める。
○探究活動などの学習活動に積極的に取り組む。より深く生徒自身が学ぶような授業を実施していく。
○生徒の心のケアに努め、一人一人が生き生きと活動することができる環境の整備をこれまで同様行っていく。
○理数科、美術科において、それぞれ科学の発展に寄与する創造性豊かな人材・芸術文化の振興に寄与できる人材の育成を引き続き行う。
○学校Webページをはじめとする広報活動に更に力を入れ、第二高校生の活躍や学校の様子など、保護者や本校入学希望の生徒、同窓生などに情報を発信していく。